

ステークホルダー・エンゲージメント

基本的な考え方

大阪有機化学工業グループでは、ステークホルダーの皆さまとの建設的な対話を通じ、未来の子どもたちが幸せにくらせる持続可能な社会を共創してまいります。

ステークホルダー・エンゲージメントの取り組み

ステークホルダー	主な対話の方法・機会	主な対話窓口
お客様	<ul style="list-style-type: none"> ●日々の営業活動 ●R&D/品質会議 4～5件/月 ●品質監査 1件程度/月 	営業部門 品質保証部門
お取引先様	<ul style="list-style-type: none"> ●日々の調達活動 ●サプライヤー監査 1件程度/月 ●技術・品質ミーティング 1～2件/月 ●安全講習会(物流事業者対象) 金沢工場/酒田工場 各1回/年 	購買部門 エンジニアリング部門 品質保証部門 業務部門(運送関連)
株主・投資家	<ul style="list-style-type: none"> ●株主総会 ●個人投資家向け説明会 東京/大阪 各1回/年 ●機関投資家向け説明会 東京 2回/年 ●ONE-on-ONEミーティング 30～40回/四半期 ●事業報告書/有価証券報告書 	IR広報部門 経営企画部門
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ●従業員エンゲージメント調査 1回/年 ●所属長との面談 6回/年 ●入社3年以内従業員との面談 58名(100%実施) ●社内報 2回/年 ●経営理念浸透に関する説明会 2回/年:管理職対象 	総務部門 経営企画部門
地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ●地域団体・イベントへの参加 2～3回/月 ●大学との共同研究 3テーマ ●学生との対話 2回/年 	総務部門 経営企画部門 事業所 技術部門

大学での講義およびグループディスカッション(同志社大学)

「CSRレポートを通してサステナブルな社会を考える」をテーマに講義を行いました。また、グループディスカッションでは、「脱炭素社会における化学会社の未来像と役割期待」をテーマに、講義をもとに話し合っていたいただき、最後にグループで発表を行っていただきました。

講義およびディスカッションを通して学生の前向きな感想を頂き、勇気をもらいました。



参加いただいた学生さんのご意見・ご感想

- ・産業全体のイノベーションを支えている化学会社の地位の向上をめざし、その魅力を不特定多数の沢山の人の人に伝えてほしい。
- ・サステナブルな社会をめざしていくにあたって、発想次第で化学は味方になるということがわかった。
- ・これまで化学会社と環境は相反するものだというイメージがあったが、環境問題に熱心に取り組まれていることを知り、ネガティブなイメージが一掃されました。